

疾病の成り立ちと回復の促進

専門基礎分野

授業科目	臨床薬理学	講師	氏名	①高橋浩二郎 ②中垣春美 ③坂井雅俊 ④中島可織	開講年次	単位・時間	
			所属	②③病院 ④専任教員			
			実務経験	①管理薬剤師 ②臨床看護師			
科目のねらい	薬物の特徴と作用機序、人体への影響（副作用、相互作用等）、薬物の取り扱いや管理について学ぶ。また、服薬指導や留意点の理解および最新医療情報（新薬、副作用、相互作用等）について検索し、薬剤師（多職種）との連携を通し看護師の役割を理解する。						
到達目標							
知識・技術	1. 薬物の特徴と作用機序を理解できる。 2. 人体への影響（副作用、相互作用等）を理解し、説明できる。 3. 薬物の取り扱い・管理方法について理解し説明できる。 4. 禁忌薬について説明できる。						
思考・判断・表現	1. 薬物の知識を使い類似薬品についての取り扱いを述べることができる。 2. 輸血の取り扱いについて列挙できる。						
主体的学習態度	1. 服薬指導上の薬剤師の役割と看護師の役割を知り、協同していることを理解する。 2. 薬害による影響を知り、自己で探求できる。 3. 薬理作用、有害作用を知り対象への指導方法に向けて考えることができる。						
科目評価	定期試験（筆記）90% レポート10% 合計100%						
テキスト	系統看護学講座 薬理学（医学書院）						
参考文献	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学（メディカ出版）						
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	薬理学総論	○			高橋浩二郎・中垣春美・坂井雅俊	全ての「病を見る」からだの構造からだの機能日常生活から見るからだ病理学総論各専門看護学	予習においてはテキストを熟読し、理解出来ない箇所を明確にする。テキスト・講義資料を用いて学習した内容を復習し理解を深める。 課題① 「薬剤の添付文書」よりわかることをレポート 課題② 輸血センター見学前「輸血の基礎知識について」 課題③ 輸血センター見学後「血液センターでの学び」レポート
2	1 薬物治療の目指すもの 2 体内動態	○					
3	3 薬効の影響する因子 4 薬害はなぜおきるのか	○					
4	5 薬の管理と新薬の誕生 6 剤形・投与経路	○					
5	7 サプリメントと薬剤 8 一般名と薬品名	○					
6	薬理学各論	○					
7	1 抗感染症薬	○					
8	2 抗がん剤 3 免疫治療薬	○					
9	4 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5 末梢神経作用薬	○					
10	6 中枢神経作用薬 7 心性・血管系作用薬	○					
11	8 呼吸器・消化器・生殖器系作用薬 9 物質代謝作用薬	○					
12	1 0 外用薬 1 1 救急薬 1 2 漢方薬 1 3 輸液製剤 輸血製剤	○					
13	輸血センター施設見学			○	中島可織		
14	薬剤師が看護師に求めるもの	○					
15	まとめ	○					